



国際ロータリー第2800地区

会長 加藤 功
幹事 富樫 松夫

超我の奉仕

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30
例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡
事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

第2304回 例会会報 平成18年2月21日(火) 晴(本年度 第30回)

会長報告

加藤 功

国際ロータリーは、新しい世紀に入り、カール・ヴィルヘルム・ステンハマー RI会長は、ロータリーの basic 理念の1つである「超我の奉仕」をテーマに掲げた。RI2800地区の社会奉仕の基本方針を意訳すると、「『超我の奉仕』はロータリーの奉仕活動をより一層社会に広め、充実した社会奉仕に高めていかなければならない。そのためには、ロータリアンは職業上の倫理と道徳の高揚に努め、将来にわたって奉仕の継続性と協力態勢を確立する。地域社会へのイメージを高めると共に、ロータリアンと新世代は奉仕の実践できる人間に成長していくことが求められる。そして奉仕の理想に向かって手を貸そうの精神で、一人ひとりが本当に果たすべき役割は何かあるのかを、理解、認識して行動していきたいと思います」と述べている。

鶴岡ロータリークラブの社会奉仕活動の1つとして計画している。「アイドリング・ストップ運動」の意義について若干考えてみたいと思います。

この運動は3つの意義があると思います。すなわち、省エネルギー、地球温暖化防止、そして大気汚染など地球環境改善である。

省エネについては、現在、自動車の燃料は石油や石炭などの化石燃料に支えられている。化石エネルギーは再生不可能であり、このまま使い続けると、いつかは埋蔵量が枯渇すると言われている。長期間利用するには、できるだけ無駄なく効率よく利用する必要がある。化石エネルギーに代替するエネルギー源としては、原子力をはじめ環境にやさしい新しいエネルギーであるバイオマス、風力発電、ハイブリット電気、燃料電池、太陽光発電そして雪氷熱を擧げることができる。その開発と利用を促進する必要がある。これらは新エネルギーであると共に地球環境改善にも大いに寄与する。

地球温暖化防止については、最も緊急な環境対策の課題になっている。最近の科学的知見によると、気候変動に伴うリスクはきわめて大きいと考えられている。EU諸国の地球温暖化対策のなかで「気候ターゲット2度」をかけている。気候が2度前後上昇したときに激烈な気候変動が起こり、人類は大きなリスクを負う可能性が高いという警告を発している。たとえば、気温の上昇、降雨量の影響、海面上昇の結果、海面水位上昇による影響の増加、とくに熱波や干ばつの気候変動と病虫害の増加が穀物生産を減少し、食糧生産に打撃を与えて飢餓人口の拡大、マラリアなど熱帯性の伝染病の蔓延と健康被害、水不足などが約30億人を襲うと予想している。これでは2050年の世界人口の約3分の1が被害を受けることになってしまう。「05年は世界的に最も暖かい年であったとされ、とくに北極海の温度上昇に注目される。地球温暖化の原因是「温室効果ガス」といわれている。これは大気中の二酸化炭素やメタンなどのガスは太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがある。日本では1998年に二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロンなどの6種類のガスが温室効果ガスとして定められた。温室効果ガスの量構成をみると二酸化炭素94%、一酸化二窒素2.6%、メタン1.4%などである。しかし、地球温暖化係数(温度効果作用の程度)では二酸化炭素1にたいして天然メタン23、代替フロン数百～数千倍とされる。二酸化炭素(炭酸ガス)の世界の総排出量230億トンのうち、USA24%と最も多く、中国13%、EU諸国13%、ロシア7%そして日本5%の順である。

地球温暖化による被害を招かないためには、絶対に気温上昇2度以上にさせてはならない。その意味では、京都議定書は画期的な条約といえる。京都議定書が2005年2月16日に発効された。日本の排出削減目標は6%、しかし、京都議定書採択からの時間の経緯で温室効果ガスは確実に増え続けてき

車が動いていない時は

ストップ！アイドリング

た。'04年にはさらに8.5%も増加したとみられるため、12年の約束期限には14.5%の削減が高い目標数値になっている。この目標を政府は、「10年までに温室効果ガス6.5%、森林の吸収で3.9%、京都メカニズムで1.6%達成する目標を立てている。京都議定書の温室効果ガスは二酸化炭素、一酸化二窒素、メタン、代替フロンなど6種類である。

なお、「アイドリング・ストップの徹底」は、車の「エコドライブ普及」「低公害車導入促進」「NOx、PM対策」などとともに地球環境改善の重要な対策を形成する。

この度、「アイドリング・ストップ運動」を実施することによって、車の省エネ、温暖化防止そして地球環境改善に貢献し、それが地域社会に広がっていくことを願っている。

本日、当ホテルの駐車場において「アイドリング・ストップ運動」の初日にあたりステッカーをロータリアンの有志からドライバーに配布していただきました。ご協力、大変有難うございました。ロータリアンの皆様には、地域社会の人々に広めて頂きたいので、何卒、ご協力の程お願いします。

■ゲストスピーチ

J Cの活動報告

鶴岡青年会議所理事長 菅原衛氏



2006年度鶴岡青年会議所第40代理事長を務めています菅原です。RC、JCOB、地域で活躍されている先輩の方々に御指導をいただきおりこの場を借りて御礼申し上げます。

私はJCに入会して10年くらいは何もないスリープ会員でしたが、30歳になってからJCの活動を通していろいろな方々と交流する機会があり、その中で変わってきたように思います。特にジュニアベンチャーカレッジ事業、高校生に会社を設立させるという企画で3年続きました。その2回目の委員長をした時猛勉強をしました。その中でいろんな矛盾や疑問を感じました。高校生と真正面から向き合うことで最終的に独立を決意しました。JCは人生最大で最後の学び舎と思っています。

JCは20~40歳までの青年経済人の集まりです。人づくり、街づくりを中心に活動しています。新鶴岡市と三川町のテリトリーに82名のメンバー、5室9委員会があり、年3回の総会、月1回の常任委員会、毎月1回の例会を行っています。公益性を重視する取組みが多くなっています。

上部組織である日本JCは、今日日本の中心文化、

心の部分を見直そうとしています。失われつつある日本の心、和の文化を再発見する活動が中心になってきています。JCにとっては政治はタブーとされてきましたが今は積極的に政治・経済を勉強しています。今の社会は、公益性、倫理観の欠如が問題になっていると私たちを考えています。

赤川花火大会の実行委員長を昨年させて頂きました。他の地域の花火実行委員の方々や花火師の皆さんと交流する機会がありその中で赤川花火が組織的にも規模的にも理想的だといわれました。今年はJC全員で取組みます。是非マス席でご鑑賞下さい。

今年は赤川花火大会のほかに、創立40周年記念事業があります。さらにブロック会長を鶴岡JCから出しており、ブロック事務所も抱えて忙しい年度となっております。先ほど入会の案内をお配りさせて頂きました。息子さんや知り合いの方に勧めて頂ければ幸いです。ありがとうございました。

第2ブロックのIM報告

越智茂昭

4日、テーマ「ロータリーを語ろう」の第2ブロックIMが行われました。始めに山形東RC、第2800地区クラブ奉仕委員長の平野熙明氏の基調講演があり、後段での討論のテーマである3項目

- a 私はロータリアンでいたい
- b 本当に喜ばれる奉仕をするために
- c 会員増強とクラブ拡大…数ですか、質ですかが提示されました。

後段は6グループにわかれ割当てテーマに沿い討論が行われました。どのテーマも現在ロータリークラブが抱えている問題点と言うこともあり各グループとも活発に討論が行われていました。

委員会報告

出席委員会

本日の出席		前々回の出席	
会員数	47人	出席率	75.00%
出席数	27人	修正出席数	34人
出席率	61.36%	確定出席率	77.27%

●メークアップされた方

佐々木皓彦君

○ビジター

佐藤宏一君(鶴岡東RC)



吉野隆一君 菅原衛君、久し振りです。理事長頑張って下さい。

阿蘇司朗君 超O Bとして、菅原君ありがとうございます。